

<https://jacobin.com/2023/10/al-ahli-hospital-bombing-gaza-war-israel-war-crimes-western-support-biden>

■ネタニヤフ首相の戦争犯罪に干渉し続けるイスラエルの西側支援者たち

ダニエル・フィン

昨夜のガザのアル・アハリ病院での恐ろしい爆撃は、即時停戦のきっかけとなるはずだった。しかし、ジョー・バイデンは、ガザの市民に対する犯罪的戦争への支持を倍加させた。

ガッサン・アブ・シッタはイギリス系パレスチナ人の外科医で、先週ガザに赴き、イスラエルの最新の猛攻撃に対処するガザの人々を支援した。彼は昨夜のアル・アハリ・アラブ病院での様子をこう語った：

私は 2 発のミサイルの甲高い音を聞き、それから大きな爆発音を聞いた。OR(手術室)の天井が落ちた。手術室の横の入り口に向かって歩いていくと、病院自体が燃えていて、直撃されているのが見えた。負傷者がこちらに向かってよろめき始めた。私は救急室に駆け込んだが、そこには何百人もの重傷者と死者がいた

イスラエル政府は先週から公然と病院を標的にすると言っていたが、世界はただ傍観し、何もしなかった。しかし、イスラエルによるガザ空爆は一向に止む気配がない：「今朝も爆撃は続いている」。

大規模な流血を受け、国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、「人間の壮絶な苦しみを和らげるため、中東における人道的停戦を直ちに行う」よう呼びかけた。しかし、イスラエルの西側同盟国は、ガザの人々に対する戦争が継続するよう最善を尽くしている。

●妨害の実行

昨夜、このニュースが伝えられると、イスラエルの戦争を支持してきた西側の政治家たちは、イスラエル軍に責任があるとの見方を避けつつも、「悲嘆にくれる」(欧州委員会委員長ウルスラ・フォン・デア・ライエン)あるいは「ぞっとする」(ドイツ首相オラフ・ショルツ)と表明した。ショルツ首相は「徹底的な調査」を求めただけで、フォン・デル・ライエン首相は「すべての事実を明らかにする必要がある」と主張した。

イスラエル軍がアル・アハリ病院を空爆したかどうかを判断するのに、アメリカ政府が信頼できるなどという考えは、私たちは一瞬たりとも受け入れるべきではない。

同様の発言は、フランスのエマニュエル・マクロン大統領とイギリスのジェームズ・クレバリー外務大臣からもあった。クレバリーは、「アル・アハリ病院での悲劇的な人命損失をめぐって結論を急いだ」と思われる人々への指弾を含み、「これを誤れば、さらに多くの人命を危険にさらすことになる」と主張した。

クレバリーは、人命を危険にさらすことを知り尽くしている。つい 4 日前、保守党の政治家は、ガザの病院や学校がイスラエルにとって合法的な軍事目標になりうると強くほのめかした：

ハマスこそパレスチナの人々にとって最大の脅威だ。彼らは病院や学校に隠れ、女性や子どもを人間の盾として使っている。民間人の死は悲劇だ。パレスチナ人であれイスラエル人であれ、ハマスがこの損失の原因なのだ。

ジョー・バイデン米大統領は今朝イスラエルに到着した際、さらに一步踏み込んでイスラエルのネタニヤフ首相への支持を表明した。ネタニヤフ首相と並んで演説したバイデンは、病院爆破事件の犯人はパレスチナ人グループだと主張した：「私が見たところでは、あなた方ではなく、もう一方のチームがやったように見える」。

まるで戦争というより野球の試合を論じているかのような矮小化した表現とともに、バイデンはメモに目を落としながら、ぶつぶつとつぶやきながらこの発言をした。彼はその後、「国防総省から示されたデータ」に依拠したと主張した。

イスラエル軍がアル・アハリ病院を空爆したかどうかを判断するのに、アメリカ政府が公平な裁定者であり、信頼できるなどという考えを、われわれは一瞬たりとも受け入れるべきではない。バイデンの訪問が強調しているように、アメリカは世界舞台におけるイスラエルの最強の同盟国であり、この戦争でこれまでで最大の犠牲者を出したネタニヤフ政権に政治的援護を提供するあらゆる理由がある。

●泥沼化する水面

イスラエル自身は、病院での殺戮はイスラム聖戦ロケットの誤射によるものだと主張している。ソーシャルメディア上のイスラエル政府の 2 つのアカウントは、昨夜、何が起こったかを示すと称するビデオクリップを投稿した。その後、ジャーナリストからタイムスタンプを指摘され、爆発が起こった後に録画されたものであることが判明したため、説明もなく削除された。

イスラエル軍は今日の記者会見で、なぜ政府の公式アカウントが虚偽の情報を流したのか説明できなかった。

イスラエル軍は、今日記者会見を開いたとき、なぜ政府の公式アカウントが虚偽の情報を宣伝したのか説明できなかった。記者会見の主な目的は、ジャーナリストたちにイスラエル側の説明を裏付ける音声クリップを聞かせることだった。イスラエル政府関係者によると、その音声はハマスのメンバー2人のディスカッションを取り上げたもので、そのうちの1人はイスラム聖戦が悪いと述べたという。

ちょうど1週間以上前、イスラエルの情報機関は、1年以上前から計画されていた数千人のハマス戦闘員を巻き込んだ攻撃を事前に警告することができなかった。それがいまや、混沌とした人口密度の高い紛争地帯のただ中で、この貴重な情報の宝庫を急遽突き止めたと主張している。この映像の独立機関による検証は行われていない。イギリスのチャンネル4ニュースのアレックス・トムソンによれば、彼が相談した何人かの専門家は、この映像は偽物だと言ったという。「口調、構文、アクセント、慣用句が不合理だ」と。

イスラエル当局には、物議を醸したエピソードの後に嘘をついた実績がある。今週月曜日、国連調査委員会は2022年5月に起きたパレスチナ系アメリカ人ジャーナリスト、シリーン・アブ・アクレ殺害事件に関する報告書を発表した。イスラエルは当時、彼女はパレスチナ武装勢力の銃撃によって殺害されたと主張していた。委員会は逆に、イスラエル兵が「正当な理由なく」殺傷力を行使し、彼女の死に責任があると認定した。

2014年、イスラエル軍は人々が避難していたガザの7つの学校を砲撃し、44人が死亡、227人が負傷した。クリス・ガネスは当時、国連救済事業機関(UNRWA)の首席報道官だった。彼は今日、当時マーク・レゲブのようなイスラエルの外交官たちが推し進めていた路線を振り返った:

2014年、マーク・レゲブをはじめとするイスラエルのスピンドクターたちは、UNRWAについてあらゆる偽情報を流すことに時間を費やした。彼らはアメリカのテレビで、UNRWAの学校から過激派がロケット弾を発射していると伝えるビデオを生中継で流した。これらはすべて国連やその他の機関によって調査され、まったくのデタラメであることが判明した。

さらにさかのぼれば、1996年にイスラエルがレバノン南部の国連施設を空爆し、100人以上の難民が死亡した後も、同じようなパターンのごまかしがあった。簡単に言えば、イスラエル政府高官がこのような時に嘘をつくのは、論争が収まるまでお茶を濁すことを期待してのことである。ドナルド・トランプの顧問であるスティーブ・バノン、このプロパガンダのテクニックを詩的に表現している。

●もっともらしい否認

病院での大虐殺に至る経緯は明らかだ。イスラエルは 1 週間以上にわたってガザを集中爆撃し、何千もの爆弾を投下し、何百人もの子どもを含む何千人もの人々を殺害した。無数の建物を取り壊し、近隣全体を瓦礫と化した。先週の金曜日には、100 万人以上の市民に対し、ガザの他の場所に安全な場所がないにもかかわらず、急遽家を出るよう命じた。

ネタニヤフ首相を煽り立てたことで、彼の同盟国は、ガザで展開されている恐怖を隠すことが難しくなった今、もっともらしい反証を求めている。

イスラエル政府の閣僚たちは、ガザの人々に対する自分たちの行動を正当化するために、非人間的なレトリックを繰り返し使ってきた。昨日、ネタニヤフ首相の公式 Twitter/X アカウントは次のようなメッセージを投稿した：「これは光の子と闇の子、人類と弱肉強食の闘いである」。このメッセージは後に削除されたが、その背後にある真理教的思考は、イスラエルの戦争遂行に顕著に表れている。

イスラエル軍はまた、ガザ北部の 22 の病院に対し、患者を避難させるよう具体的な命令を出した。世界保健機関(WHO)は土曜日、これらの命令を強く非難した：

患者と医療従事者の強制的な避難は、現在の人道的・公衆衛生的大惨事をさらに悪化させるだろう。 . .

ガザ北部の医療施設は、負傷した患者の流入を受け続けており、最大限の能力を超えて運営することに苦慮している。病院のベッドが不足しているため、廊下や周辺の路上で治療を受けている患者もいる。

2000 人以上の患者をガザ南部に強制移住させることは、すでに医療施設が最大限のキャパシティで運営されており、患者数の激増を吸収できない状況であるため、死刑宣告に等しいかもしれない。

エルサレム聖公会のホサム・ナウム主教によると、アル・アハリ病院は 3 回の避難命令を受け、昨日の爆発の前に 2 度イスラエルのミサイルの攻撃を受けたという。

昨夜アルアハリで起こったことについては、2 つのシナリオが考えられる。イスラエルに責任があるとするシナリオは、ここ 1 週間のイスラエルの行動やレトリックと完全に一致している。イスラエルと米国が推し進めるシナリオは、パレスチナのロケット弾 1 発で、ハマスとイスラム聖戦が過去 15 年にわたって何千発ものロケット弾を発射してきたにもかかわらず、これまでイスラエルの標的に与えることができなかつたような損害を与えることができると信じるよう求めるものだ。

アメリカやヨーロッパの政府高官たちは、ネタニヤフ政権にガザでのやりたい放題にゴーサインを出した後、ここ 2、3 日で自分たちの言葉を見直し始めた。民間人を保護し、国際法を遵守する必要性がより強く語られるようになった。しかしこれは、パレスチナ人に対する遅まきながらの人道的配慮を反映したものではない。ネタニヤフ首相を煽り立てた彼の同盟国は、ガザで繰り広げられている惨状を隠すことが難しくなった今、もっともらしい反証を求めている。

今重要な要求はただひとつ、即時停戦の要求だ。このまま戦争が続けば、アル・アハリのような残虐行為がさらに増え、イスラエルの西側支援者が虐殺の責任を負うことになるだろう。